

# まんさく

第285号

発行  
特別養護老人ホーム光寿苑  
まんさく編集委員会  
和賀郡西和賀町湯本30-76-1  
TEL 0197-84-2526  
koujhu@fancy.ocn.ne.jp  
題字 元理事長 太田 祖 電

《令和5年1月25日 午前・午後 開催》

新春・もちつきの日

お年寄りの気もちを受けてもち搗きました♪



鬼は外!?! 我が心の内の鬼と向き合う日!?!  
時節の変わり目 節分の豆まき  
《令和5年2月3日 『申一ツ時』 開催》



# 光寿会R4テーマ「続・知る」を軸に上半期検証&下半期目標設定

【生活】「⑥介護部門…大通り」 ☆菊池直樹☆

法人キーワード		令和4年度共通のキーワードは『続・知る』	
令和4年度上半期のイメージ	テーマ	続・個別ケア	
	理想上半期	目標 ①	目標 ②
	具体的な取り組み (いつ、何を、どのように)	①一人ひとりをもっと知る ⇒ふとした言動、ご家族との会話などからもっと本人を知り、想いに添ったケアができるようにしていく。  ②今を伝える ⇒気軽に会えない時だからこそ、情報交換を大切にし、疎遠にならないようにしていく。	①個々に合った介助方法の探求 ⇒状態や成果、課題等の情報共有を密にし、より良い入浴方法や食事の際のポジショニングの方法を探していく。  ②基本があつての応用 ⇒なぜ、こういうやり方をしているのか？ なぜこのやり方だとまずいのか？ 一つ一つの動作に責任を持ち、説明できるようにする。



令和4年度上半期検証【テーマ】	※感染者こそ出ていないが、職員のコロナ感染や濃厚接触で人手不足となり、その対応に追われて普通の暮らしができない事が何度とあった年度上半期だった。 しかし、逆に余裕が生まれたり、ゆっくり過ごせる時間ができた事があり、こういう時だからこそ、普段できていなかった個々に寄り添ったケアをしたりと、時間を有効に使えた事が良かった。
令和4年度上半期検証【各目標】	<b>目標①</b> ①②普段の会話や様子などを申し送り、情報共有ができたと思う。 制限がある中で積極的に関わりを持ってない部分もあったが、自宅外出できた方もいたし、定期的に面会に来て下さるご家族もいて、大変ありがたいと思う。  <b>目標②</b> ①②介助方法の伝達や介護技術を確認する機会を設けた訳ではないが、随時、その方に合った介助方法を話し合い、効果のある実践が出来ていると思うので、一定期間が過ぎたら、その成果や課題を見出す事もしていきたい。



令和4年度下半期のイメージ	テーマ	続・個別ケア	
	理想下半期	目標 ①	目標 ②
	具体的な取り組み (いつ、何を、どのように)	①一人ひとりをもっと知る ⇒ふとした言動、ご家族との会話などからもっと本人を知り、想いに添ったケアができるようにしていく。  ②今を伝える ⇒気軽に会えない時だからこそ、情報交換を大切にし、疎遠にならないようにしていく。	①個々に合った介助方法の探求 ⇒状態や成果、課題等の情報共有を密にし、より良い入浴方法や食事の際のポジショニングの方法を探していく。  ②基本があつての応用 ⇒なぜ、こういうやり方をしているのか？ なぜこのやり方だとまずいのか？ 一つ一つの動作に責任を持ち、説明できるようにする。

# 各部署や各ユニットにて、半年毎に自分たちの目標と実践を振り返ります

## 【生活】「②医務部門」 ☆佐藤真理子☆

法人キーワード	令和4年度共通のキーワードは『続・知る』					
令和4年度上半期のイメージ	テーマ	知ったことを活かす				
	理想上半期	<table border="1"> <tr> <th>目 標 ①</th> <th>目 標 ②</th> </tr> <tr> <td>「知る」を共有し、活かすための行動をとる</td> <td>活かしていく過程を家族と共有する</td> </tr> </table>	目 標 ①	目 標 ②	「知る」を共有し、活かすための行動をとる	活かしていく過程を家族と共有する
	目 標 ①	目 標 ②				
「知る」を共有し、活かすための行動をとる	活かしていく過程を家族と共有する					
具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	<p>①お年寄りを知るための努力をする。 ⇒自分自身の心にゆとりを持つ。 ⇒お年寄りと視線を合わせ、表情と言葉から伝えたいことを読みとる。</p> <p>②お年寄りの背景を知り、家族を理解する。 ⇒家族への連絡を小まめに行う。 ⇒変化の有無に関わらず、2~3ヶ月を目途にお年寄りの様子を伝え、家族の想いを知る。</p>					



令和4年度上半期検証【テーマ】	<p>※新人研修にあたり、自分自身（教える・伝える行為）を振り返り確認する。 ※振り返りの機会を得て、それを活かし、共に学ぶ事ができた。</p>
令和4年度上半期検証【各目標】	<p><b>目標①</b> ※新しいメンバーが加わり、日々の業務の引継ぎを行っていく途中でメンバーのアクシデントが発生…病欠となり、さらにコロナ対応等の予定外の事に対応していく事で心に余裕を持つ事が難しかった。</p> <p><b>目標②</b> ※状況・状態の変化に応じた情報については家族と共有していく事ができたが、比較的穏やかに生活しているお年寄りご家族への関わりを持つ事が少なかった。</p>



令和4年度下半期のイメージ	テーマ	振り返りの機会を得て、原点に立ち還り実践していく。				
	理想下半期	<table border="1"> <tr> <th>目 標 ①</th> <th>目 標 ②</th> </tr> <tr> <td>看護の知識・技術を共有すると共に、倫理についても共に学ぶ機会を持つ。</td> <td>まだ関わっていないご家族もいるので、お年寄りの状態をお伝えし、共有していく。</td> </tr> </table>	目 標 ①	目 標 ②	看護の知識・技術を共有すると共に、倫理についても共に学ぶ機会を持つ。	まだ関わっていないご家族もいるので、お年寄りの状態をお伝えし、共有していく。
	目 標 ①	目 標 ②				
看護の知識・技術を共有すると共に、倫理についても共に学ぶ機会を持つ。	まだ関わっていないご家族もいるので、お年寄りの状態をお伝えし、共有していく。					
具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	<p>①ユニット内で得た情報を医務内で共有し、看護の視点を持ちながらお互いの理解を深めていく。</p> <p>②面会の際には、積極的にご家族の元へ行き、様子を伝える。〔気持ちも合う〕</p>	<p>①下半期は計画的に関わりながら、家族の想いを知り、ケアに活かしていく。</p> <p>②面会の際には、積極的にご家族の元へ行き、様子を伝える。〔気持ちも合う〕</p>				

# 『今生より往く』

積み上げた忍耐力はやがて優しき笑顔に

ぶれない心と屈託のない笑顔で長寿全う



菊池 テツさん【94歳】

テツさんのやさしい笑顔と楽しい日々、一緒に笑って過ごした毎日でした。私はいつも元気を頂いていました。若い頃、苦勞をされてきたというテツさんだからこそ、深いやさしさだと思います。おかげさまでした。

工藤 美加子



高橋 タマさん【97歳】

いつも笑顔で、職員に元気を送り続けて下さいました。大変な時でも、タマさんの笑顔に自分も何度も助けられました。ありがとうございます。最期、大好きな孫さんたち皆に会えてよかったです。

佐々木 暎

子想いの母心は親を想う子の心へと…



小田島 市子さん【85歳】

娘さんの「おかあさん」等の呼びかけに、一生懸命応えようとしている姿に、いつも感動していました。親子の絆の尊さも、その関わり方や言葉から学びました。ありがとうございます。

高橋 ゆきえ

おかげさまでした

### ご寄附

★=光寿苑、☆=ひなたぼっこ

- ★ 高橋 典成 様 [長瀬野]
- ★ 菊池 多美子 様 [白木野]
- ★ 宮川 知恵子 様 [島根県]

### ご寄贈

- ★ 藤原 恵子 様 [若 畑]
- ☆ 高橋 ちづ子 様 [下 前]
- ☆ 照井 和枝 様 [北上市]
- ☆ 佐々木 里子 様 [北上市]
- ☆ 高橋 純 様 [神奈川県]

### 面 会

[1/1~1/31]

- 【看取り期面会】… 延べ40名
- 【対面面会】… 延べ 8名
- 【窓越し面会】… 延べ 6組
- 【オンライン】… 延べ 1組

### 訪 問

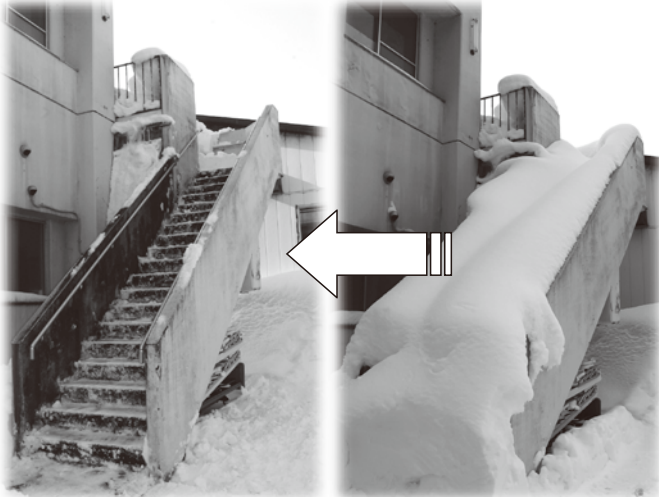
- ひなたぼっこ運営会議 (1/17)
- ☆ 運営推進会議委員 10名様

光寿会へのご支援

# 想... 災害を捉える ~岩手から発信します vol.3~

## 『西和賀人は毎年“雪害”との闘いなんだ』 太田宣承

西和賀と言えば大雪。今回、この“雪害”と言われる課題について書いてみました。



わずか数日で積もった雪を除雪！

3、11で沿岸から避難なさって  
いた陸前高田の方々、  
西和賀の人たちは、毎年、雪  
害を受けて闘ってんだよね。忍耐  
強く、大したもんだよ。  
とよく仰っていた事を思い出す。  
ここ2年に比べれば少なめの今  
冬の雪。それでも降り始めれば一  
気に腰の高さを超える降雪となる。  
毎年、家屋の崩壊・人的被害が必  
ず発生している。雪さえ降らなけ  
れば、と口走ってしまふ私だが、  
独居のお年寄り宅や隣家の除雪も  
奉仕で行っている西和賀人の優し  
さは、この豪雪の先の春を想わす。

### ツァガンダライさん 3年間、ありがとう♪



3年間、技能実習生として尽力下さったモンゴルのツァガンダライさんが、1月31日で任期満了となり帰国となりました。明るくいたずら好きだった彼女は、お年寄りからも職員からも愛されました。



### 介護才劇 at 西和賀高校



今回は、西和賀高校1年生を対象に「看取り」の劇を演じ介護の魅力伝えて参りました。(1月18日)

### 永年勤続表彰 by 岩手県社協



光寿苑永年勤続の熊澤優子さんと小林幸子さんが表彰です！

今月の登録者の方々  
14 名様です♪



### 真冬でもひなたぼっこは温かい♪「ひなたぼっこの日常」



左：熟練の凍み大根づくり 中：お茶会「真剣！書初め」 右：カラオケ絶賛歌唱中♪

### 第3回『運営推進会議』（1月17日）

△外部委員10名、職員4名出席▽

△委員 利用登録者数に変わりないとの報告でした。介護度別で見ると介護度3と4で人数の入れ替えがあるようです。登録者の変更があったのでしょうか。

△職員 登録者の変更はありませんが、1名の方が要介護3から4に区分変更があったためです。

△委員 介護度が上がれば、利用単価も上がることでしょね！

△職員 介護度が上がることで利用単価も上がります。この方は介護度4になりましたが、現在も一人暮らししております。食事については、配食サービスも利用しながら生活しています。

△委員 続いて「外部評価」の配分方等との関わりは？という設問ですが、あるものですか？

△職員 地域の方からの相談は、民生委員を経由して相談を受けております。

△委員 民生委員が相談を受けての対応の流れでしょうか。

△委員 地元の方でどこか行きたいけど、いそいそ（ひなたぼっこ）

はどんな処？との相談があり、大体の説明を行いながら、直接お話を伺ってまいりましょうとすすめてみました。

△職員 様々なきかけや情報を頂ければ、事業所としては相談受けますし、サービスも利用して頂く時の大事な情報となります。

△委員 前回、火災と地震の計画ありとお聞きしてました。風水害計画はありますか？また、備蓄等について教えてください。

△職員 風水害についての計画はありません。備蓄に関しては、飲料水は事業所内備蓄しており、食料については光苑から届くようになっております。その他、発電機等も準備しております。

△委員 ダム水位からはかなり高い位置にありますので、水が溢れることはないでしょうか。かけ崩れに関しても、山側からかなりの距離もあり土砂等が届くことはないでしょうか。

△職員 火災ならば、まず外に出る。出て一時避難を行う。消防署・消防団等により、おんぶ等して避難活動して下さると思います。

# 各部署や各ユニットにて、半年毎に自分たちの目標と実践を振り返ります

【在宅】「②地域密着型部門(ひなたぼっこ・湖畔の宿)」 ☆刈田光太☆

法人キーワード		令和4年度共通のキーワードは 『続・知る』	
令和4年度上半期のイメージ	テーマ	地域を知る	
	理想上半期	目標 ①	目標 ②
	具体的な取り組み (いつ、何を、どのように)	①地域住人との交流を深め、情報を得ていく。 ①地域行事へ積極的に参加していく。 (防災訓練等) ②サロンやお茶会で発信された情報を収集し、地域へ出向いていく。 ③近隣住人への明るい挨拶を心掛けていく。	サロン・お茶会の内容の充実 (令和3年度から継続) ①感染症対策をとったうえで ・バス旅行〔お茶会〕 ・季節を感じていただける作品作り〔お茶会〕 ・身体機能低下を防ぐ為、西和賀ご当地体操やゴルフを取り入れ体を動かしていく〔サロン〕 ・コロナ禍で隣近所との交流が減っている為、お茶会やサロンを通して交流を深めていただく〔お茶会・サロン〕 【令和3年度から継続】

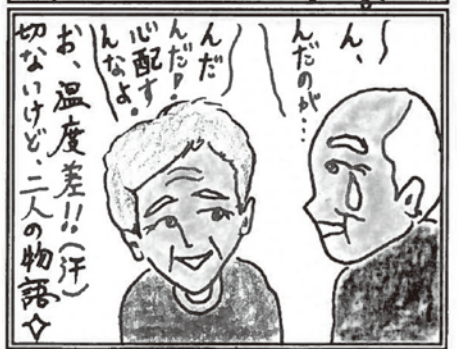


令和4年度上半期検証【テーマ】	コロナにより、地域行事に参加する事ができなかった。
令和4年度上半期検証【各目標】	【お茶会・サロン】 ・湯川方面より新しくメンバーが参加され大変喜んで頂けた。そして次回にはメンバーが増えた。 →今後のデイサービスの利用者増加に繋げたい。 ・コロナ禍で隣近所との交流が減っていたが、お茶会やサロンを通し交流を深めることができたので今後も継続する。 ・お茶会・サロンのバス旅行が再開する事ができ参加者の方々から大変喜んでいただけた。 【ひなたぼっこ】 ・福祉まつりに作品を出展したが、コロナの影響により見学する事ができず残念だった。



令和4年度下半期のイメージ	テーマ	可能な範囲で地域行事へ参加していく。	
	理想下半期	目標 ①	目標 ②
	具体的な取り組み (いつ、何を、どのように)	地域住人との交流を深め、情報を得ていく ①地域行事へ積極的に参加していく。 ②サロンやお茶会で発信された情報を収集し、地域へ出向いていく。 ③近隣住人への明るい挨拶を心掛けていく。	サロン・お茶会の内容の充実 ①感染症対策をとったうえで ・季節を感じていただける作品作り〔お茶会〕 ・身体機能低下を防ぐ為、西和賀ご当地体操やゴルフを取り入れ体を動かしていく〔サロン〕 ・コロナ禍で隣近所との交流が減っている為、お茶会やサロンを通して交流を深めていただく〔お茶会・サロン〕

光寿苑 285号 の日々



イラスト：1000

「生まれ変わっても今の連合と一緒にいたいのか？」等の質問に、男性6割に対し、女性は1割程というデータは日本人の特徴…。ではあるものの、その2人にしか分からない世界観がある。因縁の中を生きている。

# 嘘も方便(うそもほうべん)

## 《仏教のことわざ》

第4回 丸田善明

自然法爾 (じねんほうに)

幼い頃から、嘘をついてはいけないよ。鬼に舌を抜かれると言われて育った。鬼も怖かったし、舌を抜かれるって痛いだろうな、と思ったものだ。「正直であれ!」という教訓だったのだろう。「嘘つきは泥棒の始まり」ということわざもある。今はどうだろう?と、国会論戦を見ていて思っている。

嘘が人類の救済になることもある。家火事で燃え上がっている。中では子どもたちが遊ばいに夢中だ。通り掛かった人が声を掛けても気がつかず遊ば呆けている。そこで、その人は一計を案じて、アイスクリームが

だか、子どもたちのマインのちんは助かったのだ。

あるよ。食べないか。クと声を掛けたら、子どもたちはそれに誘われて火事場から出てきた。アイスクリームは嘘だった。

この「嘘」の内景には、「状況を正しく見つめる智慧」がある。今、社会に蔓延している嘘は、自己保身のための「欺瞞」でしかないから、社会を明るくしない。

「智慧」から湧き出した「嘘」を「方便」という。クでだて」ということ。「智慧の人」をブツダというから、このアイスクリームは、ブツダのクでだて」だったのだろう。

おわりに

今月初め、大阪のお寺さんたちとマこれまでのお寺とこれからをテーマに研修するご縁があった。参加者のお一人がおっしゃった。「広く出遇う」をテーマに、別世界の人等に沢山会ってきたが、それによって自分の中に核がない事に気がついた。今は自分の内に向いて過ごす日々。「愚痴や悪知の集い」という場を創って、悩みや悪知を一對一で聞く様になったら、今まで寺報を渡しても渡した傍から折り畳んでいた人が、読んでもくれるようになった。悪知の先にあるものが見えてくるんやね。不平不満をしかと受止めてもらえれば、自己内省へと繋がる。

※「寺報」はお寺の広報誌

